

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2020年度)

専門分野区分	専門基礎	科目名	システム開発とリーダーシップ	科目コード	DL201A1
配当期	前期	授業実施形態	通常	単位数	2単位
担当教員名	廣本 亜矢子	履修グループ	<u>2L(DG/DM/DW/MA)</u>	授業方法	講義
実務経験の内容	2007年に株式会社ワイドブック設立。役員として会社の経営に携わるとともに、人材育成コンサルタント（現職）として若い世代の人材育成、企業内人材育成に携わっています。主な活動内容として、ICT活用関連の検定試験ブランディングコンサルティングの実施、自治体や企業における基本行動分析・改善プロジェクトの実施、企業や文科省関連事業の e-learning 化における学習用コンテンツ制作（画面、テンプレートデザイン、イラスト等作成を含む）、映像編集等の実務、及び一連のプロジェクト運営など手広く取り組んでいます。				
学習一般目標	現在、企業や社会では、プロジェクトをチームで行う事は一般的になっています。皆さんの学習活動（システム開発をはじめ各種制作活動）の中でもその機会はあるでしょう。それらを成功へと導くためには、積極的に働きかけ、周囲を巻き込み、協力していくことが欠かせません。それは、即ち「ポジティブな影響力によるリーダーシップ」を発揮することだといえます。この授業では、「ポジティブな影響力によるリーダーシップ」を発揮できるよう、自分自身の行動を変えていくことをゴールとしています。				
授業の概要および学習上の助言	この授業では、「ポジティブな影響力によるリーダーシップ」のエッセンスを、グループワークなどを通して、楽しく、わかり易く学びます。授業のタイトルは全コース共通で「システム開発とリーダーシップ」となっていますが、この「ポジティブな影響力によるリーダーシップ」は、「システム開発」に限らず、制作などのグループで活動する際、誰にでも発揮することが可能です。自分自身の中にあるリーダーシップの要素を様々な学びの方法の中で見つけ、試行・実行してください。この授業では、「失敗」はありません。社会での活躍を目指して、積極的に参加してください。				
教科書および参考書	教科書：「チームを成功に導くリーダーシップ」(株)ワイドブック発行				
履修に必要な予備知識や技能	日本語で日常的な会話ができること。 やる気を持って、積極的に演習に参加してください。				
使用機器	プロジェクターとスクリーンを使用します。				
使用ソフト	PPT				
学習到達目標	学部DP (番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	2	ポジティブな影響力によるリーダーシップの重要性を理解できる。（レポート）			
	2・4	授業内で身に付けたポジティブな影響力によるリーダーシップを、今後どのように向上させ、どう活かしていくかを文章によって表現することができる。（レポート）			
	2	ポジティブな影響力によるリーダーシップを発揮するために、自分自身のおかれた状況を判断し、どのような行動を取ればよいかを自ら考えることができる。			
	2・3	ポジティブな影響力によるリーダーシップを発揮するために必要な行動は何かを考え、熱意を持って自ら行動を起こすことができる。			
	3・4	チームメンバーを巻き込み、元気にし、成功へと導くことの重要性を理解し、やる気にさせる話しかけの言葉・行動・態度を習得できる。			
5	ポジティブな影響力によるリーダーシップを発揮することを意識し、各回の授業・グループワークなどに積極的に取り組むことができる。				

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポ ート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフ ォリオ	その他	合計	
	総合評価割合			70	30					100
	学 部 D P	1.知識・理解								
		2.思考・判断		20	20					40
		3.態度		20						20
		4.技能・表現		20	10					30
5.関心・意欲			10						10	
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験	筆記試験は実施しません。								
	クイズ 小テスト	授業中に行うワークへの取り組み、授業の振り返りシート等の提出・内容によって評価します。								
	レポート	(400字～2000字程度) 日本語の不自由な学生は、事前に相談してください。								
	成果発表 (口頭・実技)									
	作品									
	ポートフォリオ									
	その他	出席が50%を下回る場合は、積極的な取り組みの意識がないとみなし、不合格となる可能性があります。								

## 授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の 運営方法	学習課題(予習)
第1週 / (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバス・授業概要の説明・自己紹介</li> <li>・リーダーシップ発揮の第一歩</li> <li>・リーダーシップとは</li> </ul> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業でのポイントを理解し、それをふまえてグループワークに参加することができる (各回共通)</li> <li>・授業で取り扱う「リーダーシップ」の定義を理解し、それをふまえて授業のまとめプリントに自身の考えを記述することができる</li> </ul>	講義 演習 F B	授業内容の振り返りとなる、まとめプリントを次回までの課題とする。
第2週 / (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップはなぜ必要か</li> </ul> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップがなぜ必要とされているのかを理解し、具体例を挙げて説明することができる</li> <li>・自分自身のリーダーシップ度を捉えて自己評価することができる</li> </ul>	講義 演習 F B	授業内容の振り返りとなる、まとめプリントを次回までの課題とする。 <b>【予習課題】</b> テキスト P.20 の課題を自分なりに考え書いてくる。
第3週 / (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーとリーダーシップ</li> </ul> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素晴らしいリーダーの要素から、リーダーシップを捉え、表現することができる</li> <li>・リーダーとリーダーシップという2つのものの違いを自分の言葉やイメージで説明することができる</li> </ul>	講義 演習 F B	授業内容の振り返りとなる、まとめプリントを次回までの課題とする。
第4週 / (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームとは？チームビルディング</li> </ul> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループとチームの違いを理解し説明することができる</li> <li>・ここまで学んだリーダーシップの要素をふまえてチームビルディングに取り組むことができる</li> </ul>	講義 演習 F B	授業内容の振り返りとなる、まとめプリントを次回までの課題とする。
第5週 / (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なリーダーシップが存在する</li> </ul> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なリーダーシップの発揮方法が存在することを理解し、それぞれの違いについて表現することができる</li> <li>・授業の内容をふまえて自分自身の価値観にあったリーダーシップを見出し、それについて説明することができる</li> </ul>	講義 演習 F B	授業内容の振り返りとなる、まとめプリントを次回までの課題とする。
第6週 / (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、あなたがリーダーなのか</li> </ul> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もがリーダーシップを発揮できることを理解し、どのようにすればリーダーシップの発揮につながるのかを考え、記述することができる</li> </ul>	講義 演習 F B	授業内容の振り返りとなる、まとめプリントを次回までの課題とする。
第7週 / (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変化するリーダーシップ</li> </ul> <p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップの形が、時代とともに変化してきたことを理解し、これからの時代のリーダーシップの要素について考え、記述することができる</li> </ul>	講義 演習 F B	授業内容の振り返りとなる、まとめプリントを次回までの課題とする。

第8週 / (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップの実践：</li> <li>・VSOP モデル①：ビジョン (V : vision)</li> </ul> <b>【目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョンの必要性を説明することができる</li> <li>・演習を通して、リーダーシップを発揮するための、ビジョンを見つけるヒントをつかむことができる</li> </ul>	講義 演習 F B	授業内容の振り返りとなる、まとめプリントを次回までの課題とする。 <b>【予習課題】</b> テキスト P.60,61 を可能な限り多く書いてくる
第9週 / (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップの実践：</li> <li>・VSOP モデル②：戦略 (S : strategy)</li> </ul> <b>【目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習を通して、リーダーシップを発揮し、ビジョンを達成するための戦略の立て方を理解し、実践することができる</li> </ul>	講義 演習 F B	授業内容の振り返りとなる、まとめプリントを次回までの課題とする。
第10週 / (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップの実践：</li> <li>・VSOP モデル③：共有 (O : Objective Sharing)</li> </ul> <b>【目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習を通して、ビジョンの示す目標を共有するための方法を理解し、実践することができる</li> </ul>	講義 演習 F B	授業内容の振り返りとなる、まとめプリントを次回までの課題とする。
第11週 / (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップの実践：</li> <li>・VSOP モデル④：成功への熱意 (P : passion)</li> </ul> <b>【目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習を通して、ビジョンの実現、成功するために必要な熱意はどのようなものかを理解し、実践することができる</li> </ul>	講義 演習 F B	授業内容の振り返りとなる、まとめプリントを次回までの課題とする。
第12週 / (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップを発揮してチームメンバーを育てる</li> </ul> <b>【目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームメンバーの育成方法を理解し、育成プランを考えることができる</li> </ul>	講義 演習 F B	授業内容の振り返りとなる、まとめプリントを次回までの課題とする。
第13週 / (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ</li> <li>・リーダーシップ総合演習</li> </ul> <b>【目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までに学んできたことを基に、各自が自分に合った方法でリーダーシップを発揮することができる</li> </ul>	講義 演習 F B	授業内容の振り返りとなる、まとめプリントを次回までの課題とする。
第14週 / (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップ総合演習</li> </ul> <b>【目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までに学んできたことを基に、各自が自分に合った方法でリーダーシップを発揮することができる</li> <li>・これまでの授業を振り返り、自身のリーダーシップについて考えをまとめることができる</li> </ul>	講義 演習 F B	
第15週 / (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総括・振り返り</li> <li>・レポート記述</li> </ul> <b>【目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの授業を振り返り、自身のリーダーシップについて考えをまとめることができる</li> <li>・レポート記述のポイントを参照し、レポートを記述することができる</li> </ul>	講義 レポート F B	